

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月22日(水)

事務事業		学力向上推進事業		担当課	学校教育課	担当係	教育指導担当	管理番号	6126	
総合計画	大項目	2	次代を担う人と文化を育むまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	共に学び成長が実感できるまちづくり		根拠法令 個別計画等	学校教育法第30条第2項				
	小項目	1	「生きる力」を育む学校教育の推進							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		子どもたちの確かな学力の向上を目指し、生きる力を育む学校教育を推進する。								
目的 ※何のために		教員の授業力向上を図ることにより、児童・生徒の学力向上を図る。								
対象 ※誰・何を対象に		市内市立小中学校の児童生徒、教職員								
手段 ※どのように		①各種調査をもとに児童生徒の学力を分析する。 ②教職員の指導力の向上を目指した研修を実施する。								
成果 ※何を求めるか		児童生徒の学習意欲の向上、学力の向上								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他( )								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	10	教育費	1	教育総務費	3	教育研究所費	学力向上推進事業	14,582,057
本事業の 主な業務		・ 深谷市チャレンジ(全校実施)					・ 学力調査等の実施			
		・ 指導法研修会の実施					・ こころざし深谷 国際塾 科学塾			
		・ 小・中学校NRT標準学力検査の実施					・			
		・ 英検・数検の検定費用の補助					・			
		・ 検定合格サポート講座の開講					・			
		・ ふっかちゃんタ焼け計算道場の実施					・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		深谷市チャレンジ(全校実施)指導法研修会	深谷市チャレンジ(全校実施)指導法研修会	深谷市チャレンジ(全校実施)指導法研修会	深谷市チャレンジ(全校実施)指導法研修会	深谷市チャレンジ(全校実施)指導法研修会	深谷市チャレンジ(全校実施)指導法研修会
事業費	予算(現額)	1,654,000	15,404,000	15,530,000	16,354,000	17,289,000	17,715,000
	決算額	1,468,678	12,618,200	13,873,327	13,073,761	14,582,057	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	1,468,678	12,618,200	13,873,327	13,073,761	14,582,057	17,715,000
人件費	従事職員数(人)	0.95	0.80	1.20	0.52	1.08	0.73
	人件費相当試算※	7,390,050	6,225,600	9,726,000	4,230,720	8,382,869	5,935,884
総事業費試算		8,858,728	18,843,800	23,599,327	17,304,481	22,964,926	23,650,884

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
活動指標 1	N R T 標準学力検査実施校数	目標値	校	0	29	29	29	29	29
		実績値		0	29	29	29	29	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		全小中学校（小学校 1 9 校、中学校 1 0 校）/実施校数						
	実績値の算出式								
成果指標 1	N R T 標準学力検査を受検した児童・生徒の割合	目標値	%	0	100	100	100	100	100
		実績値		0	98.92	98.42	98.43	98.3	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		受験率 1 0 0 % を目標値とする / 受検した児童生徒数／全児童生徒						
	実績値の算出式								
成果指標 2	放課後補習等への参加児童数（小 4）	目標値	%						
		実績値		19.09	28.1	15.44	21.34	21.16	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		小 4 の補習等への参加者割合 / 参加児童数／全児童数						
	実績値の算出式								
成果指標 3	学力を伸ばした児童の割合（小 5）	目標値	%	100	100	100	100	100	0
		実績値		75.54	77.8	78.2	63.13	81.2	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		学力検査で伸びた児童の割合で 1 0 0 % を目標値とする。 / 学力が伸びた児童数／小 5 全児童						
	実績値の算出式								
成果指標 4	放課後補習等への参加生徒数（中 1）	目標値	人						
		実績値		321	352	436	323	289	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標値の設定はしない / 参加生徒実数						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえ A～C の三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A: 達成している B: おおむね達成している C: 達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	目標通りすべての小・中学校で N R T 標準学力検査を実施することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	放課後補習（小 4）は、全校で実施し、1, 1 7 2 名中、2 4 8 人が参加した。 学力を伸ばした児童（小 5）は、県学調の結果から、小 4 から小 5 にかけて算数で学力を伸ばした児童の割合である。
			評価者 課長補佐兼指導主事 高橋 真也

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A: 効率的である B: 高める余地あり C: 効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICT の活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	検定募集をし、受験者の申し込み等の事務処理を I C T で行うことにより、事務処理にかかる時間を削減することができた。
			評価者 課長補佐兼指導主事 高橋 真也

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	学力向上推進事業	担当課	学校教育課	担当係	教育指導担当	管理番号	6126
<div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>埼玉県学力・学習調査やN R T 標準学力検査の結果を分析し、授業改善に取り組んでいる。また、必要な児童・生徒に対し、放課後補習を実施し、学力や学習意欲の向上につなげている。</div>					
<div>上記を実施するための具体的な取組内容は？</div>		<div>評価者</div> <div>学校教育課長 兵頭 一樹</div>					

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

